

第72回オンライン大会（試行）参加者アンケート結果報告

COVID-19 対策特別WG長 相澤 真一

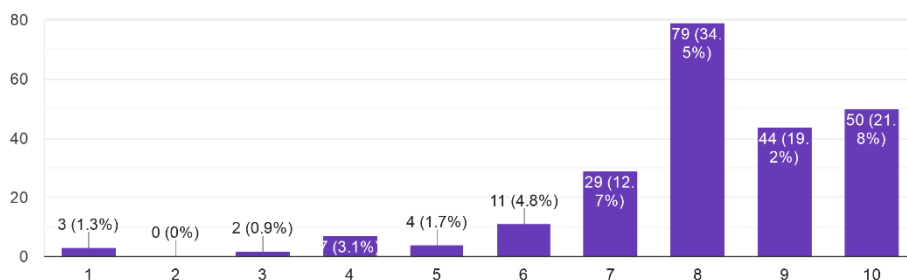
このたびの第72回オンライン大会の折には、多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、参加者アンケートにご協力を賜り、誠にありがとうございました。本調査の結果報告として、特徴的な結果が現れたものをご紹介します。

●本調査全体の概要

今回は、大会終了時に、参加者の皆様に URL をお送りして、調査を実施いたしました。その結果、回収された231票となり、全ての回答が無回答だったものを除く有効回答数は230票でした。参加した会員に対する回収率は47.9%でした。多くの会員の皆様にご協力を賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。

●今大会の大会満足度について

今回のオンライン大会に参加してみて、総合的に満足しましたか。
229件の回答

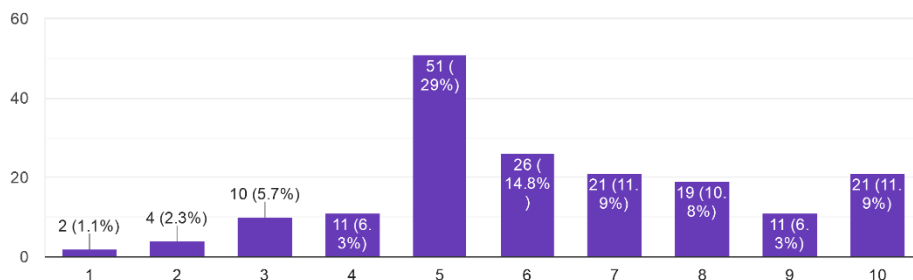


今回のオンライン大会の総合的な満足度を確認したところ、上のグラフのように、8点と答えた人が一番多く、全体の4分の3の方々が8点以上と答えていました。参考として、尋ねた例年の満足度よりも有意に高い結果となりました。

ただし、あとの自由回答の分析からもうかがえるように、資料の配布方法と総括討論の意義については、かなり多くの回答が寄せられまして、これらについては、改善の余地があると考えております。

●今回のオンライン大会で浮かび上がった課題 オンデマンド報告について

オンデマンド部会に満足しましたか。
176件の回答

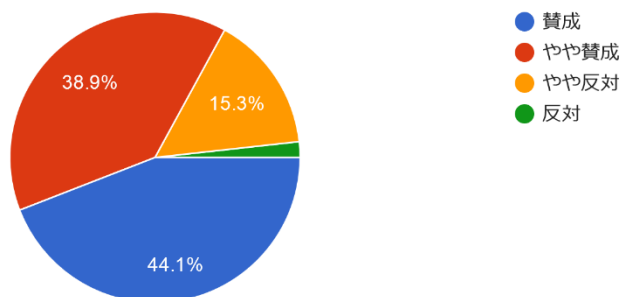


また、全体的に課題が残ったのが、オンデマンド報告でした。オンデマンド報告では、全体的に満足度が低く、回答は5点に集中し、平均点は6.26点で、一般研究部会は8.07点、総合満足度は8.09点から、大きく離れております。

また回答者も176件とかなり少ないため、報告をご覧になった方も少なかったと思われます。

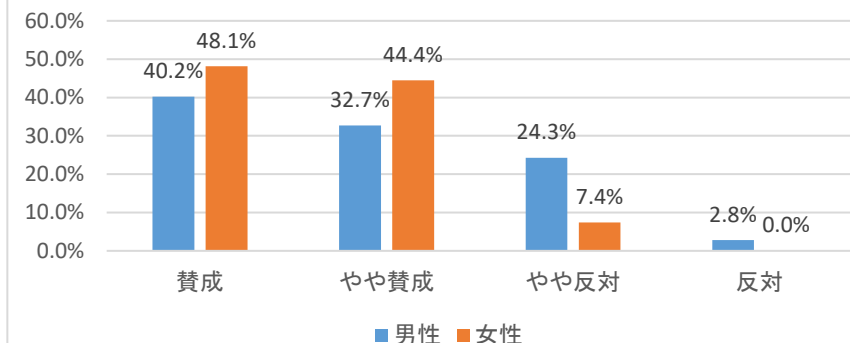
●今後のオンラインでの開催の賛否

今後、本学会大会がオンライン形式で行われることについて賛成ですか、反対ですか。
229 件の回答



● 賛成
● やや賛成
● やや反対
● 反対

来年度のオンライン開催の賛否（性別）

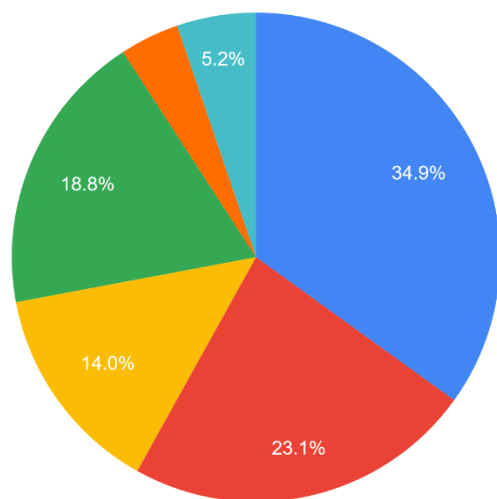


今後、本学会がオンライン形式で行うことについて、尋ねてみたところ、上のグラフのように、一定の賛意が得られたことも確認できました。この結果は、左の図のように、性別で差が見られ、女性のほうが賛成する回答が多い傾向にありました。

最後に、来年度の開催方式についての意見を下のグラフから見てまいりましょう。

●来年度の開催方式についての意見

「来年の大会について、どのように開催されるのが良いと考えますか。」のカウント数



● ハイブリッド(両方を組み合わせる)がよい ● 感染の状況をみて決めるのがよいが、対面がよい
● オンラインでの開催がよい ● 感染の状況をみて決めるのがよいが、オンラインがよい
● わからない ● 対面での開催がよい

グラフの通り、かなり意見が分かれました。現在、大学でも試みられているハイブリッド式の開催は負担が大きいことも踏まえて、今後さらに検討されるべきであると考えられます。

最後になりますが、このたびの調査にご協力くださり、どうもありがとうございました。心より御礼申し上げます。 (本調査についての問い合わせ先：相澤真一 s-aizawa@sophia.ac.jp)